

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	さくらひがしみどりのふたば		
○保護者評価実施期間	2025年 12月 16日		2026年 1月 16日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	0	(回答者数) 18
○従業者評価実施期間	2025年 12月 16日		2025年 1月 16日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 12日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもの居場所として確立されている	自分らしく過ごせる環境づくり 支援員との信頼関係の構築 本人の意思を尊重した支援	子どもたちひとりひとりに寄り添い、その日に合わせた支援の実施 無理強いせず、できない日も受け止め、次に繋げるように工夫する
2	ひとりひとりに寄り添ったアセスメントが機能しており、個別支援計画に基づいた支援ができています	保護者や本児の意向を引き出し、意向に沿った支援計画を作成 5領域を意識したアセスメントの実施	保護者の困り事、悩み事、将来望むことなど大きい目標も踏まえた個別支援計画の作成
3	Hug(ケア記録)やLINEを活用した連絡体制による家庭との密な連携がとれている	HugやLINEの活用 困り事や相談事があれば、随時面談や電話対応の実施	相談員や学校とも連携を図る

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	非常災害時のための訓練が実施、周知できていない 各種マニュアルの存在を保護者様にしっかりと周知できていない	契約時などで委員会の設置や苦情受付窓口などはお伝えしているが、その他マニュアル等の詳しい説明ができていない	非常災害時のための訓練実施、保護者への周知徹底 各種マニュアルをHPに記載
2	学校や地域との交流、父母の会などの保護者様の交流の場が実施できていない	地域との連携が密にとれていない 保護者より開催を求める声もあったが、実施まで至らなかった	地域連携を図る 父母の会など保護者交流の場を設定
3	プログラムがマンネリ化している	活動内容が曜日によって固定化されており、変化や工夫が足りない	固定曜日ではなく、様々な曜日に設定 児童らの興味関心のもてる活動の模索、実施